

日本鉄鋼協会記事

第 64 回秋季講演大会

今回の大会は、10月6日、7日、8日の3日間広島市において開催され、その後9日、10日の両日に互に見学会が行われた。大会諸行事の実施状況次の通り。

I. 学術講演会 10月6日から8日まで3日間広島市千田町1 広島大学文学部および理学部において行なわれた。第1日の6日は8:50分参会者一同第1会場に集合、初めに佐副会長より開会の挨拶があり、次いで黒田実行委員長(中国四国支部長)から歓迎の辞が述べられた後、6会場においてそれぞれ講演が開始された。7日、8日の両日も同様9:00から6会場で講演が行なわれ、3日間を通じ研究発表の講演数は177件の多数を算し、聴講者も合わせて500名に上り、甚だ盛況であつた。

II. 鉄鋼技術共同研究会第4回部会報告講演会 6日午後1時半から文学部講堂において開催、つぎの講演が行なわれた。

開会挨拶	幹事長 山岡 武 君
最近の製鋼技術の進歩について	製鋼部会長 武田 喜三 君
分塊工場における設備および技術の進歩について	鋼材部会分塊分科会主査 田村純治郎 君
わが国鉄鋼業の真空溶解技術の進歩	新技術開発部会真空冶金分科会主査 長谷川正義 君

III. パネル討論会 日本金属学会と共催で10月6日午後1時半から教育学部大講堂で行なわれた。

(A) 主題 鋼中非金属介在物研究の問題点 (日本鉄鋼協会担当)

講 演	鋼中非金属介在物研究の現状	○長谷川正義 君	内山 郁 君
	鋼中非金属介在物対策研究上の諸問題に関する考察		荒木 透 君
	A1 脱酸と非金属介在物に関する 2, 3 の問題点		下川 義雄 君
	造塊技術と非金属介在物		小池 与作 君
	造塊用耐火物と非金属介在物		青 武雄 君

討 論

(B) 主題 脆性破壊 (日本金属学会担当)

講 演	脆性破壊に関する諸問題	横堀 武夫 君
	構造用鋼材の脆性破壊について	木原 博 君

討 論

IV. 公開特別講演会 日本金属学会と共催の下に6日午後3時より教育学部大講堂において開催された。

特別講演	原子炉用金属材料の発展方向	ウィーン大学教授 エーリッヒ・シュミット 君
公開講演	製鉄技術の将来	富士製鉄株式会社副社長 的場 幸雄 君
	欧米における鉄鋼材料の研究開発状況について	金属材料技術研究所所長 橋本 宇一 君

V. 懇親会 6日午後6時から広島市羽田別荘において日本金属学会と合同で開催された。最初に金田実行委員長(金属)より挨拶があり、安田金属学会々長、佐鉄鋼協会副会長、シュミット博士よりもそれぞれ挨拶があつて開宴、宴半ばに有田神楽(広島県郷土民芸)、伊予万才(愛媛県郷土民芸)などの珍しい余興も披露せられ、満場の拍手を浴びた。参会者一同広島銘酒を酌んで互に交わり、歓を尽して懇親を重ね、最後に黒田実行委員長(鉄鋼)の閉会の挨拶があつて一同和気霽々の裡に散会した。この日の出席者は200名を超え、頗る盛況であつた。

VI. 事業運営懇談会 7日午後6時から、広島市観音崎三菱会館において開会、田村北海道、小野東北、内川東海(代)、桑田関西(代)、黒田中国四国、和田九州各支部長並びに中国四国役員5氏、本部からは佐藤、佐副会長のほか役員委員10氏出席して、協会の事業運営特に講演会の開催、会誌の編集、欧文誌のあり方などについて、また各支部よりの要望事項について意見の交換を行い、懇談を重ねて午後8時散会した。

VII. 工場見学会 本会並びに日本金属学会々員約450名は、つぎの8班に分れ、9日、10日の両日に互り、工場の見学を実施し、兼て各地方の観光を行なつた。

第1A班	日本製鋼所広島製作所、新興金属、東洋工業
第1B班	三宅製針、三菱造船、三菱精機、大和重工
第2班	NBC造船、呉造船、尼崎製鉄呉製鋼所、日新製鋼呉工場、音戸大橋
第3班	八幡製鉄光製鉄所、八幡鋼管光工場、日立製作所笠戸工場、出光興産
第4班	宇部興産宇部鉄工所、神戸製鋼長府工場
第5班	井関農機、住友機械新居浜工場、住友化学新居浜工場、同菊本工場

- 第 6 班 日立金属安来工場, 和鋼記念館, 米子製鋼, 日本パルプ
 第 7 班 新三菱重工三原製作所, 日立造船因島工場
 第 8 班 三井造船玉野造船所, 三井金属鉱業日比製錬所

臨時総会 昭和37年10月6日午後1時から広島大学文学部講堂において開催。三島会長外国旅行中にて不在のため
 俵副会長議長となつて、つぎの議案について審議。満場一致原案通り可決午後1時半散会。

議案 定款一部変更の件

社団法人日本鉄鋼協会定款中つぎの通り一部変更する。

1. 第2条中「東京都千代田区丸の内2丁目10番地仲14号館1号内」とあるを、「東京都中央区宝町2丁目4番地」に改める。
2. 第19条第1項中「1 理事15名（うち会長1名、副会長2名）」とあるを、「1 理事20名（うち会長1名、副会長2名、専務理事1名）」に、「3 評議員150名以内」とあるを「3 評議員250名以内」に改める。
3. 第20条中「会長、副会長は」とあるを、「会長、副会長および専務理事は」に改める。
4. 第21条中「理事は重任することができない」とあるを、「理事は重任することができない、ただし、専務理事たる理事はこの限りでない」に改める。
5. 第28条につぎの1項を加える。
 専務理事は、会長の指揮を受け会務を処理する。
6. 第29条中「会長、副会長以外の理事は」とあるを、「会長、副会長、専務理事以外の理事は」に改め、「4 企画」のつぎに「5 研究」を加える。
7. 末尾につぎの付則を追加する。

付 則

第19条の変更定款の施行に伴い増加する役員の選挙は、昭和38年度通常総会において行なう。

昭和38年度通常総会において選挙される増員理事のうち2名および増員評議員のうち半数の任期は、第23条の規定にかかわらず就任後第1回の通常総会の終るまでとする。

第7回理事会 日時：10月17日（水）16・00 開会。会場：協会々議室。出席者：俵副会長ほか 17 名。

報告事項 Ⅰ. 編集委員会に関する件。Ⅱ. 企画委員会に関する件。Ⅲ. クリープ試験研究組合に関する件。Ⅳ. 秋季大会に関する件。Ⅴ. 英国鉄鋼視察団来日に関する件。

協議事項 Ⅰ. 本会50周年記念事業に関する件。Ⅱ. 鉄鋼二次製品生産設備の調査受託の件。Ⅲ. 大河内賞候補者推薦の件。Ⅳ. 東洋レーヨン科学技術賞および助成金候補者推薦の件。Ⅴ. 日本規格協会自動制御に関する調査委員会参加の件。Ⅵ. 職員就業規則中旅費に関する規定改正の件。Ⅶ. 9月中入退会その他会員異動の件。Ⅷ. 9月中収支決算の件。

第8回(臨時)理事会 日時：10月31日（水）17・00 開会。会場：国際観光会館ホテル。出席者：三島会長ほか21名。

協議事項 専務理事互選の件—互選の結果理事田畑新太郎君専務理事に選任。

第8回編集委員会 日時：10月23日（火）17・00 開会。会場：協会々議室。出席者：松下理事ほか 16 名。

報告事項 会誌第12号（10月号）完成および第13号（11月号）完成予定について。

協議事項 Ⅰ. 会誌第12号（10月号）の講評。Ⅱ. 寄稿論文の審査。Ⅲ. 第49年第1号（1月号）掲載論文の選定。Ⅳ. パネル討論会について。Ⅴ. 鉄共研報告講演原稿依頼について。Ⅵ. 第65回春季講演大会原稿について。

第7回企画委員会 日時：10月17日（水）13・00開会。会場：協会々議室。出席者：伊木理事ほか12名。

報告事項 Ⅰ. 秋季大会について。Ⅱ. 英国鉄鋼視察団来日について。

協議事項 Ⅰ. 大河内賞候補者推薦について。Ⅱ. 東洋レーヨン科学技術賞および助成金候補者推薦について。Ⅲ. 職員就業規則中旅費に関する規定改正について。Ⅳ. 日本規格協会自動制御に関する調査委員会参加について。

三島会長帰国 ルイギ・ロサナ賞受賞のため、9月16日羽田発イタリアに渡航された三島会長は、その後西独、スイス、ベルギー諸国を視察。10月26日無事帰国された。

専務理事就任 定款改正により、本会に新たに専務理事を置くこととなつたが、10月31日の臨時理事会において理事互選の結果、理事田畑新太郎君が満場一致をもつて専務理事に選任せられ、就任した。

支 部 記 事

北海道支部 八幡製鉄渡辺記念講演会 日時：10月26日．会場：室蘭市室蘭工業大学．講師：室蘭工業大学教授西田恵三君．演題：鉄鋼材料の高温腐食

東北支部 特別講演会：9月14日八幡製鉄渡辺記念講演会（既報）に引続きウィーン大学教授 F. SCHMID 博士来仙の機会に日本金属学会東北支部と共催により，同博士の特別講演会を開催した．

講演会および見学会（日本金属学会東北支部，日本鉄鋼協会東北支部共催，東北鉄鋼協議会後援）日時および場所：講演会 9月27日一秋田大学鉱山学部鉱業博物館講堂．見学会 9月28日帝国石油秋田鉱業所．

- | | | |
|---------------------|---------------|---------|
| 講演 (1) 複雑硫化鉄の処理について | 秋田大学鉱山学部教授 | 海津 良之 君 |
| (2) ステンレスの腐食について | 東北大学金属材料研究所教授 | 下平 三郎 君 |
| (3) ステンレスの溶接について | 東北大学工学部教授 | 小林 卓郎 君 |
| (4) 放電加工について | 同 | 金子 秀吉 君 |
| (5) 欧米視察談 | 同和鉱業小坂鉱業所長 | 角田 資敏 君 |

北陸支部 第9回特別講演会 日時：10月2日（火）場所：不二越鋼材工業株式会社教育センター．

講演：製鉄技術の 2, 3 の話題—八幡製鉄株式会社常務取締役 工博 和田亀吉君．

映画：「明日の鉄鋼」1巻—八幡製鉄株式会社提供．当日の参加人員約 100 名．

最新 X 線分析講習会 日時：10月22日～24日．会場：富山大学工学部．

題目および講師

- | | | |
|-----------------------|-------------|---------|
| (1) 開会のあいさつ | 富山大学教授 | 森棟 隆弘 君 |
| (2) X 線分析について | 金沢大学教授 | 竹村 松男 君 |
| (3) X 線の有機化学への応用について | 富山大学助教授 | 広岡 脩二 君 |
| (4) 焼入鋼の X 線応力の測定について | 不二越鋼材工業研究所長 | 近藤 正男 君 |
| (5) 蛍光 X 線分析結晶解析の応用 | 理学電機株式会社技師 | 新井 智也 君 |
| 自動記録 X 線回折装置の操作および解析 | | |
| 蛍光 X 線分析装置の操作および解析 | | |
| (6) 閉会のあいさつ | 富山大学教授 | 室町 繁雄 君 |

九州支部 腐食防食討論会並びに見学会（日本金属学会九州支部ほか関係学協会共催）日時：10月13日～15日．
会場：九州大学工学部防音教室．見学会：若戸大橋・関門

第1日 一般講演16題，特別講演：第2回国際金属不動態シンポジウムに出席して—北海道大学教授 岡本 剛君

第2日 一般講演16題，討論会「工業用水と腐食」

第3日 一般講演12題，特別講演：船舶および各種原動機における腐食上の諸問題—三菱造船研究部 金森政雄君